Agilent Technologies 社製 XFp インジェクションテスト手順

Agilent Technologies

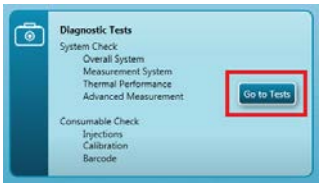
本書は XFp のトラブル「インジェクションの不具合」が起きた際に、インジェクションの動作確認を行う手順を記載しています。原因究明や解決策の説明は「XF シリーズ インジェクション不具合対応手順」を参照ください。

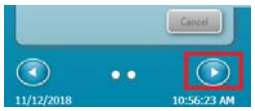
【必要なもの】

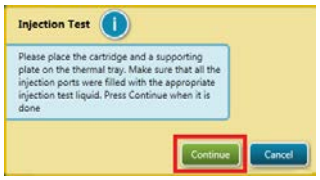
- センサーカートリッジ・ユーティリティプレート各 1 枚（未使用のもの。期限切れ可）
- キャリブレーション溶液　約 2mL
- ピペットマン・ピペットチップ（25uL 分注可能な容量）

【インジェクションテスト手順】

- キャリブレーション溶液を 25uL ずつ、カートリッジの全てのインジェクションポートに充填する。
  - ➢ 気泡が入らないよう注意する。カートリッジ上部に液が付いた場合にはキムワイプなどで拭き取る。
- XFp の電源を起動する。イニシャライズが完了し、温度が表示されるのを待つ。
- Home 画面から **Diagnostics** ボタンを押す。
- **Diagnostic Tests** 項目で **Go to Tests** ボタンを押す。
- System Check から画面右下の▶を押す。（Consumable Check に進む）
- **Injections Test** にチェックを入れ、**Start** ボタンを押す。
- トレイが出てくるので、カートリッジ・プレートをトレイに載せ、**Continue** ボタンを押す。
  - ➢ カートリッジが Load され、A～D 各ポートのインジェクションが自動で行われる（約 2 分）。







- インジェクションが完了すると自動でトレイが出てくるので、カートリッジ・プレートを取り出し、**Continue** ボタンを押す。トレイが中に戻る。
- カートリッジのポートを目視で確認し、溶液が排出されているか確認する。
  - ➢ 裏面から確認すると良い。ポートの先端に少しついているのは正常。
- A～D の各ポートについて、正常に排出できた場合は **Yes** を、排出不良であれば **No** を押す。全て Yes の場合に合格になる。
- 全てのポートで排出が正常であれば、インジェクションテストは合格のため、右下の▶を押して Home に戻る。不良な箇所があれば、再度テストを繰り返し、再現性を確認する。

動作確認の結果を弊社担当にご連絡ください。

ご不明な点等がありましたら、弊社テクニカルサポートまたは営業担当まで、ご連絡くださいますようお願い致します。

お問合せ：
プライムテック株式会社
www.primetech.co.jp

技術部・テクニカルサポート
東京都文京区小石川1-3-25 小石川大国ビル2F
Phone：03-3816-0851（代表）　Fax：03-3814-5080
E-mail：support@primetech.co.jp